

「長岡京市第9次高齢者福祉計画・長岡京市第8期介護保険事業計画（素案）」に関する
意見募集の結果について

■意見募集期間

令和3年1月8日（金） ～ 令和3年2月5日（金）

■意見提出件数

9件（うち、2件無効）

・無効意見

内容資格を有する者以外（確認できない者も含む）からの意見	1件
他の担当課の業務に関する意見	1件

■意見の内容とこれに対する市の考え方

該当箇所	内 容	対 応
24ページ 柱2： 介護等が必要にな ったときの安心を 守る 施策領域（2）： 認知症対策 施策②	“認知症地域支援推進員”という名称 は、前回までの福祉計画の中には出て こなかったと認識している。周知され ているのでいけば良いが、そうでなけ れば説明を載せてはどうか。	国が示す、認知症地域支援推 進員の役割についての説明 を最終案に反映し掲載いた します（25ページ）。
11～13ページ 柱1： 高齢期を自分らし く暮らすことを応 援する 施策領域（2）： 社会参加	様々な世代が自然と重なる居場所づ くりや集いの場の検討が必要ではな いか。また、継続的な参加が見込まれ るような工夫が必要ではないか	実際に利用している高齢者 の意見を反映しながら、様々 な世代の交わりや引き続き 参加したいと思える居場所 の充実を図ってまいります。

<p>1 2 ページ 柱 1： 高齢期を自分らしく暮らすことを応援する 施策領域（2）： 社会参加 施策② 高齢福祉に係るボランティアの確保・育成</p>	<p>ボランティアを求める福祉施設と施設で活動したいボランティアのニーズが上手くマッチングしていないと思う。ボランティア活動者が求めている内容を情報発信する必要がある。施設関係者等との意見交換できる場があればよいのではないか。</p>	<p>ボランティア・福祉施設の双方にとって、有益な情報が得られるような場の開催を今後検討してまいります。</p>
<p>1 4 ページ 柱 1： 高齢期を自分らしく暮らすことを応援する 施策領域（3）： 高齢者虐待防止・権利擁護 施策① 高齢者虐待の予防と対策の強化</p>	<p>介護相談員と受け入れ施設関係者との意見交換の場があるのでしょうか。また、【指標 1】に派遣実績の目標がありますが、意見交換等の開催についての見える化をしてもいいのではないか。</p>	<p>本市も派遣先事業所と行政と介護相談員の意見交流会を定期的を実施しています。また、介護相談員として出席いただく会議もあります。介護相談員の実際の活動の情報発信方法について、今後検討してまいります。</p>
<p>1 5 ページ 柱 1： 高齢期を自分らしく暮らすことを応援する 施策領域（3）： 高齢者虐待防止・権利擁護 施策② 成年後見制度等の利用支援</p>	<p>成年後見制度の認知はまだまだであると感じています。 今後、正しい認識を持てるようなセミナーを福祉サービス利用者や家族・職員に行っていく必要があると思います。その他、制度が利用できるまでの期間の短縮化や費用補助等の充実が行われれば、より身近なものとして認識してもらえるのではないか。</p>	<p>計画の指標にも設定しましたように、成年後見制度について知識普及と意識啓発に努めてまいります。</p>

<p>16ページ 柱2： 介護等が必要になったときの安心を守る 施策領域(1)： 介護サービス等 施策① 介護保険サービスの充実</p>	<p>低所得者や非課税世帯においては、介護サービスを受けていても経済的な負担が大きく、利用したくても利用できないことが多くあります。サービスの充実だけでなく、それを受けるための支援も必要か。</p>	<p>当市においては、低所得により、サービス利用料金が減免されなければ生活保護基準を下回る方を対象とした減免制度を設けています。経済的な負担が大きく、必要なサービスが利用できない状況が生じないように施策⑥介護保険制度の適正運営で制度周知を継続して行っています。</p>
<p>該当箇所なし</p>	<p>若い世代は特に認知症への理解は大変困難であると感じています。講座という形であるとハードルが高いので、学校の授業の一環として継続的に行うなど、生活の流れの延長線上で自然な形で認知症啓発ができるとよい。</p>	<p>核家族化が進む中で、若い世代への認知症啓発は大変重要ですが、認知症に特化するとなかなか興味を持ってもらえない傾向があります。学校の授業での実施もよいですが、講座といった方法にとらわれず、それぞれの世代や所属に応じた啓発方法を工夫してまいります。</p>